

のまち・ひと・わたし < 小学校第6学年 > ～レッツ！ボランティア～

目的 自分の特性を生かし、喜びややりがいを感じながら、進んで活動することができる。
身近な地域のボランティア活動に参加したり体験したりすることにより、自分にできることを考え、行動することの大切さに気づき、自分の生き方を見つめ直す。
自分たちの住む地域の人々とのふれあいを通して、地域の一員としての自覚や、地域への愛着を高める。

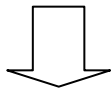
< 気づく >

ボランティアってなんだろう

- ・ インターネットで情報収集する
- ・ 図書室などで資料を集める
- ・ ビデオでボランティアについて学習する

さまざまな方法で調べ学習することにより、情報を集め自分なりにまとめる。

道徳との関連
「オトちゃんルール」
(日本標準)
・ 自分の長所を知り、それを伸ばしていこうとする態度を育てる。



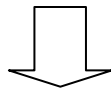
< 広げる深める >

身近なボランティア活動について知ろう

- ・ ボランティアコーディネーターの方から町のボランティア団体について話を聞く
- ・ ボランティアの体験談を聞く

身近な地域の実情を知り、ボランティア活動についての認識を深め、自分たちでやってみようという意欲を高める。

特別活動との関連
「クリーン作戦」
・ 町の美化活動を通して、自分たちの町を自分たちできれいにしていこうとする態度を育てる。



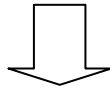
< 計画する >

ボランティアを体験しよう

- ・ 福祉やボランティアの実際を見学・体験する
- ・ 自分でもできることを考え計画する

福祉やボランティアの実際を見学・体験することにより、参加する人たちの思いにふれ、自分にもできるボランティア活動を考え、計画する。

道徳との関連
「しらんぷりはできないよ」
(日本標準)
・ 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする態度を育てる。



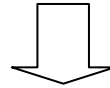
<実践する>

ボランティア活動を実践しよう

- ・計画したことを実践する（実践を繰り返し深めることもできる）

経験を生かし、よりよいボランティア活動のあり方を考え、計画・実践する。

社会科との関連
「みんなの願いを実現する政治」
・公共施設の建設や利用について学習し、人々の願いが実現する様子を知る。（公民館、福祉センター、地域総合センター等）



<振り返る>

テーマ「私にとってのボランティア活動」についてみんなに紹介しよう

- ・「パネルディスカッション」
- ・「討論会」
- ・「コーナー発表」 などの発表会を開く

学習を通して感じたこと、考えたことを相手にわかりやすくまとめて伝える。ボランティア活動を通して、さまざまな立場の人の思いについて知り、ボランティア活動や自分自身の生き方についての考えや態度を高める。

国語科との関連
「未来についての討論会をしよう」
・根拠と考えとの関係に注意して、人の話をよく聞いたり、話し方を工夫したりして話し合う。



【学習を進めるにあたって】

- ・地域のボランティア活動について、事前に把握しておく。その場合、福祉やまちづくりなどの部局の情報を活用するなど他部局との連携が必要である。
- ・ボランティア活動を実施する場合、相手のことを中心に考え、押しつけにならないように留意したい。